

## あなたは 5 つの柱の人ですか？

ダン・ジャスターアグローエルサレム コンボケーション 2019-火曜日 AM セッション

### Are You A Five Pillars Person?

Dan Juster - Tuesday AM Session

ある日、主の御前にデポーション(黙想の時)を持っていました。その中で主が入って来られ、今までにない方法で私に御言葉を開かれました。主からの啓示として起こったことが、今重要ではありません。主が真実を示される時はいつでも、それは主にある啓示です。

ご存知かどうかはわかりませんが、主からの啓示といったことについて話すとき、非カリスマのクリスチャンたちが気分を害することがあります。そういった言い方が好きではありません。彼らは、私たちがどこからか降りて来て聖書を書き、聖書の聖典に書き加えると思ってしまいます。それは私たちが話していることではありません。

霊が介入し、私たちが見逃したことで聖書に示されていることについての話です。私たちは多くを見逃しています！ ある人は、「下線を引いたところの間も読む必要がある」と言いました。

33 歳の時、主は私に終末の教会とイスラエルについて語り始められました。そして、それはアッシャー・イントレーターと私が書いた本、「イスラエル、教会、そして終末の日」に見られる神学へと発展しました。この本は、終末のことにかかれた基本的声明で、その事柄がどこから来たのかが書かれてあります。1980 年代に私たちが受けたものは、非常に歴史的に教会に根ざした位置であることが後になってわかりました。その時は知りませんでした。後で、学者たちと会い、本を読んで、自分たちが受け取ったと思ったものがまったく新しいものだと思っていたのが、本当は、全然新しいものではなかったことがわかりました。それは結構、衝撃的でした。

### 五本の柱ムーブメント

質問です。あなたは 5 本の柱の人ですか？ 五本柱ムーブメント(運動)に参加して下さるようご招待します。

これら5つの柱についてお話ししたいと思います。とても簡単です。それは終末の日についてです。それは教会がどこへ行くのかについてです。

数百年前のピューリタン(清教徒)とルター派ピエティス(敬虔主義)の時代の後、ユダヤ人コミュニティのある人々は、メシアを取り戻すためにできることはないかと探り始めました。

今日、私たちは別の方法でその質問を投げかけます。「メシア到来を近づけるにできることは何かあるだろうか。メシア到来を早めるためにできることはあるか？」

### 神の日

2 ペテロ 3:11-12 「このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならないことでしょう。そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

---

ペテロは預言者の書から正しく見て、神の日、それは悪が滅ぼされる日です。預言者たちの書に、主の日は、神が神の民に介入し、救い出すと同時に、その憐れみと恵みを拒絶する邪悪な者に裁きを下す日であると書いてあります。聖書はその最終的である主の日を探っています。

🔑 キー：主の日は悪が破壊される日です。

歴史上、徐々に主の日々がありました。神の民の救出とこの地上の邪悪な者に対する裁きにおいて、神の究極の最終的な介入があります。ペテロは、もし私たちが聖なる生き方をし、敬虔に生きるなら、主の日の到来を早めると言っています。

🔑 キー：主の再臨を早める方法は、主の前で聖なる敬虔な生き方をすることです。

## 最初の柱

ピューリタン(清教徒)の一部、次にルター派のピエティス(敬虔主義)、そしてツインツェンドルフ(ジンゼンドルフ)のもとでのモラヴィア教会は、ヘルンフートからの祈りの会が世界宣教を開始し、そこで素晴らしい 100 年の祈り会を開催しました。**最初の柱**であるリバイブされた人々が持っていなければならないもの、それはイエスへの情熱です。そのことを信じ始めたのです。そして彼らはこのリバイバルを神に求めました。

🔑 カギ：**最初の柱**は、イエスに情熱を傾けるリバイブした人々が必要であるということ。使徒 2 章からリバイバルの影響を確認してください。

**使徒 2 : 14-15** そこで、ペテロは十一人とともに立って、声を張り上げ、人々にはっきりとこう言った。「ユダヤの人々、ならびにエルサレムに住むすべての人々。あなたがたに知っていただきたいことがあります。どうか、私のことばに耳を貸してください。今は朝の九時ですから、あなたがたの思っているようにこの人たちは酔っているのではありません。

それは、デニス・ベネット神父によるカリスマ運動の有名な著書のタイトルにもなりました。

朝の 9 時

**使徒 2 : 16-20** これは、預言者ヨエルによって語られた事です。『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。

その日、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると、彼らは預言する。

また、わたしは、上は天に不思議なわざを示し、下は地にしるしを示す。それは、血と火と立ち上る煙である。主の大いなる輝かしい日が来る前に、太陽はやみとなり、月は血に変わる。

ペテロの言葉に注目してください。主の日が来る。主の日を早めるには、どんな種類の人にあなたはなるべきですか。

『**使徒 2:21** しかし、主の名を呼ぶ者は、みな救われる。』 (新改訳)

(そしてアドナイの名を呼び求める者は皆救われる。(英語からの直訳))

今、ペテロは、メシアであるイエシュア、イエスの到来により、最後の日々が始まったと信じました。けれども終末の日々に、最後の終わりがあることを、預言者ヨエルによって語られていると話しました。しかし、御言葉を読む霊的な人々の良い総意と、使徒の働き 2 章がヨエルによって語られたことの部分的成就であると信じる多くの学者たちの非常に良い総意があります。

私たちが新約聖書で読んでいるものの多くは、まだまだそうではない現実という文脈の中にあります。イエスはすでに来られました。正当な王です。良い知らせは、正当な王が到着したことであり、もし私たちが自分の人生を主に委ねるなら、私たちの人生すべてが意味のあるものになり、主はすべてを正しい秩序に整えられます。主は私たちの罪を赦し、私たちを救い、王国の領域に連れて行ってくださいます。王国は主の中に来ており、私たちは主の中にいます。

しかし、王国はまだ満ちたところまで来ていません。世界は未だに多くの悪に支配されています。そして、第二ペテロ 3 章に読まれる最終の主の日は未だ来ていません。ですから、この箇所や第二ペテロにある他の多くの箇所を読む人々は、世界がその主の日になる前に、全世界に神の霊の力強い注ぎがあると信じるようになったのです。

## イエスの再臨をもたらず終末のリバイバル

私たちはリバイバル主義者です。終末のリバイバルを信じています。これは 1600 年代のイギリスとアメリカのピューリタンの頃に遡ります。彼らの中にはリバイバルを信じる動きがありました。私たちは通常、彼らを堅苦しい、一種の柔軟性に欠ける人々と考えてしまいがちですが、一部の人々は聖霊の注ぎを受けていました。ある人たちは力に倒され一晩中寝たまま何も話さず、翌朝目を覚まし、栄光の天国の事柄について話しました。中には、歴史の神学にたどり着き、私たちは歴史を通して神の王国を終末の最後のリバイバルが起こる最後まで前進させるリバイバルの連続を見ることになるだろうと言いました。そのリバイバルは終わることがなく、再臨に導かれるだろうと。

🔑 キー：リバイバルは、イエスが再臨されるまで、陣痛のように激しくなり続けます。

彼らが信じたリバイバルの連続を潮の満ち引きのように私たちは見るでしょう。しかし、最終的な終末のリバイバルは、終わりません。それは主の再臨を導きます。彼らはそれをこの一節で見、他の箇所でも見ました。彼らは、聖霊の注ぎを、使徒 4 章 31 節でペテロが祈った後に、エルサレムで二度目に聖霊が注がれたときと同じように繰り返されることあるのだと分かりました。ですから私たちはリバイバルを受けとめます。私たちはリバイバルの歴史を受け入れます。

🔑 キー：世界中の神の民は、キリストが戻って来られる前に、神の臨在と力を知り、認識し、出会う、イエスへの情熱的な愛を持たなければなりません。

私たちはこの世界的リバイバルのために主を求めなければなりません。私たちはそのために祈り、それを求め、そして聖霊の注ぎがあるところで、そのムーブメント(運動)の一部でなければなりません。これは常にアグローの柱であったと思います。ジェーン、どういう言葉で言ったら良いかわかりません。

ペンテコスタリズムに戻ると、元々の注ぎ出しがアズサストリートで始まり、そこから発展した神学であると分かります。この柱は明らかにその当時、その神学にあり、物事はこの終末のリバイバルに向かっていることがわかります。さて、この終末のリバイバルは、私たちがこの地上で行わなければならないある特定のことを完了できるようにします。

## 第二の柱

ヨハネの福音書 17：20-24 で、イエスは言われました。

20 わたしは、ただこの人々のためだけでなく、彼らのことばによってわたしを信じる人々のためにも願います。21 それは、父よ。あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにいたるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じる

ためなのです。22 またわたしは、あなたがわたしに下さった栄光を、彼らに与えました。それは、わたしたちが一つであるように、彼らも一つであるためです。23 わたしは彼らにおり、あなたはわたしにおられます。それは、彼らが全うされて一つとなるためです。それは、あなたがわたしを遣わされたことと、あなたがわたしを愛されたように彼らをも愛されたこととを、この世が知るためです。24 父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。

🔑 キー：第2の柱は一致です。

私が33歳の時にこの箇所を理解しました。少し背景を説明します。私が高校の時、信仰を持つ者として教会の一致、つまりユースグループが重要であると感じました。この箇所を見て、効果的な伝道を見るためには、これは重要でした。

その頃私は長老派教会にいました。エキュメニカル関係委員会にいました。さまざまな教派から集まっていて、彼らの多くが聖書の基本的な真実について懐疑的だったので、それは興味深い立場でした。彼らは、私たちが信じるものにあまり多くないので、私たちをもう分割するものはもうないので、一緒に集まっているのかもしれないと感じました！

私は一致のために働いていると思っていましたが、ヨハネ17章から、この一致がこのリバイバル精神から生まれなければならないことを理解するようになりました。鶏と卵のようなことです。人々は一致してリバイバルを祈ります。リバイバルが起こり、隔壁を打ち破ります。それから、私たちは、一致の場所へと入り、それがより多くのリバイバルとより多くの一致とさらに多くのリバイバルをもたらします。

🔑 キー：もし神とのアライメントがリバイバルを生む一致を生み出すものであったら？

リバイバルは多くの分裂を生み出しますが、人々はお互いに築き上げてきた障壁を越えて見るため、多くの一致を生み出します。

### 終末論の祈り：終末との関係

ヨハネ17章のこの注目すべき箇所は、一部の学者にイエスの終末論的祈りと呼ばれています。その大きな言葉はどういう意味でしょうか？終末論は終末と関係しています。

イエシュアは終末の祈りを祈っています。

- » 主は、イエスと父とが同じように一つになっているように、私たちが一つになるように祈っています。
- » 主は、歴史を通して使徒たちの証人の結果として信じるすべての人々のために祈っています。
- » 主は、私たちが世界中のすべての都市の信じる者のみからだにおいて、協力的な一致とお互いの愛を達成することを祈っています。
- » 主は、神が、一致して祈る人々、協力的に一致する人々、伝道で一致する人々が育てあげられることを祈っています。
- » 主は、一致と愛のデモンストレーションが主の再臨を導くことを祈っています。

私たちがこのような人になると、世界は信じるだろうと主は言っているからです。



## 終末の悲観的教義

これは柱の1つではありませんが、預言書を研究するなら、20世紀に私たちが持ったことの1つ、教会がその爪で握り続けると言う終末の悲観的教義と、その後、物事は衰退し、ほとんどのクリスチャンは脱落し、さらに悪化し、反キリストが来るという。そして、私はそれを信じています。

イスラエルにいる友人の中には、私がヨハネ 17 章の一致について話したとき、それを本当に恐れている人がいます。彼らは、終末の日に私たちの指の爪で握りしめ、忠実な少数の人々だけが携挙されると思っています。神の裁きがこの世にもたらされ、7 年後にイエスが再臨される。これはその悲観的終末論です。

この世が信仰にたどり着くのを見られるという一致と勝利の場所に教会が来るという感覚がないようです。これらすべての裁きの終わり、ペテロが語る神の介入の終わりである国の回心であるという感覚がありません。国の回心は、裁きのためだけに起こるのではなく、教会の一致と世界規模の権力の証しのために起こります。

🔑 キー：教会が一致と勝利の場所に入ると、国が一日で救われるのを見るでしょう。

グローバルサウス(\*1 参照)を研究するときに見るものの1つで、フィリップ・ジェンキンスの『次のキリスト教世界』やクレイグ・キーナーの驚くべき 2 冊の素晴らしい本で世界中で起こっている異常なまでの奇跡を記しているものがあります。これは前例のないことです。世界が見たことがないような奇跡的な注ぎが今日あります。さまざまな場所で、キリスト教の異なる教派の流れの間にあつたあの古い分裂は、彼らにとってあまり意味がないことがわかります。

ジェンキンスが次のキリスト教世界と呼ぶキリスト教が育てられています。キリスト教は下降していません。それは拡大しており、強力な力で満たされています。私たちがヨハネ 17 章の一致のメッセージをグローバル・サウスにもたらすことができたら、そして私たちがそのような者ですから、国の回心と主の再臨に何を意味するのでしょうか？これが中国の教会でも起こっています。それは、彼らがみな一つとなるため、そのことによって、世が信じるためなのです。(17 節) そして、それが主の再臨に関連していることは、これがすべて起こるとき、私たちは主と一緒にいて、主の栄光を見るという事実によって示されているようです。

---

\*1 グローバルサウスとは、世界銀行がアジア、アフリカ、ラテンアメリカ、カリブ海に位置し、グローバルノースに比べて中低所得国と見なされる国を指すために使用される新しい用語です。

情報源 [https://en.wikipedia.org/wiki/Global\\_South](https://en.wikipedia.org/wiki/Global_South)

---

最初の柱はリバイバルへの情熱です。

2 番目の柱は一致です。私たちはこの一致の探求に参加しなければなりません。

「5本の柱ムーブメントに参加していますか」と尋ねる意味は、

- » リバイバルで神の霊の注ぎに情熱を注いでいる
- » キリストのからだの一致を求めることに情熱を傾けている。

🔑 キー：リバイバルが起こるとき、聖さをもたらす悔い改めの霊が起こります。

今、リバイバルに関して言いたいのですが、深いリバイバルは常に悔い改めと聖さの霊をもたらします。それは単なるリニューアルではありません。もっと深いことについて言っています。リバイバルの歴史を学ぶと、神の聖さを追い求める人々がどのように変革されているかがわかります。ペテロがリバイバルに影響を与える何かについて話すとき、「聖さの中で、どのような人々にあなたがなるべきか。」と言います。これらは非常に重要な真実です。

## イスラエルは救われる

これはエペソ 4 章で示されていると言う人もいます。5 役者の働きについてのことを私が今語ろうとしているのではなく、メシアの満ち満ちた身丈に達するまで継続されるということを言っています。それは、メシアの完全な身丈であって、この一致につながっています。(エペソ 4:12-13)

また、ローマ人への手紙 11:25-26 にも関連しています。そこでは、異邦人の完成のなる時に、イスラエルが救われると読んでいます。一部の学者たちは、異邦人が(キリストの)からだか、ある数に達するとイスラエルが救われると言います。他の人たちは、からだの一部の異邦人部分が主の臨在と力に満ちたところまで達するまでを意味すると言う人もいます。多分それは両方です。

### 第三の柱

🗝️ キー：第三の柱は、福音の堅固な土台の上に建てられた王国(御国)社会を建てる世界宣教です。

主は、このメッセージを私が行くところどこにでも携えて行くように召しておられると信じています。このメッセージを世界中のすべての地域社会で語り、そこがリニューアルされるためにです。

マタイ 24:12 で、イエスは、「不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。」と言われます。今日それが起こっているのが見られますか。なんということでしょう。その不法のレベルは驚くべきものです。あなたが伝統的な結婚を信じていると言うなら、それはヘイトスピーチ(憎悪表現)です。10 年前に、そんな時代になるなど誰がそれを夢見ていたでしょうか。

マタイ 24 : 13-14 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。

これについては、マルコ 16 章にもあります。王国(御国)の福音の宣言が歴史を主の再臨のクライマックスに動かすというテキストです。

そのため、ツインツェンドルフが 1730 年代にドイツのヘルンフォートに彼のコミュニティを構えたとき、彼らは世界宣教に関わらなければならないと信じ、週 7 日 24 時間祈禱会を始めました。それは、100 年間続きました。そしてもちろん、メソジズムのルーツはモラヴィア人(派)とツインツェンドルフに遡ります。ツインツェンドルフが見ていたことは、彼らが自分たちのコミュニティでヨハネ 17 章の一致を表さなければならなかったということです。ですから、彼はプロテスタント、カトリック教徒、改革派、ルーテル派、アナバプテスト派を招待しました。このコミュニティに一致して住みたい人は誰でもできました。そして、彼らは祈りに身を捧げ、世界宣教に身を捧げました。なぜなら、王国の福音が全世界で宣べ伝えられなければならないからです。その後、イエスが戻ってこられるからです。

このモラヴィア人らは素晴らしく、何人かはガレー船(人力で櫂を漕いで進む軍艦)に参加し、おそらく自らの死の可能性を知って漕艇チームに参加しました。こういった手漕ぎ船に乗っていた男性の多くは死ぬまで働きました。彼らは有罪とされた犯罪者で、奴隷でした。そして、モラヴィア人はこれらの人々を救いたかったのです。驚くでしょう？彼らは世界中に行きました。

宣教学者たちのほとんどは、プロテスタントの世界宣教の誕生は、ヘルンフォートでのこの 100 年の祈りの会に遡ると言います。主が私に示された多くのことは、19 世紀末と 20 世紀の大部分に失われた歴史で、それが今回復しているのです。

🗝️ キー：王国(御国)の福音は救い以上のものです。それはキリストを受け入れ、キリストの主権に服従することです。

### 王国(御国)の福音

王国の福音が何であるかを理解する必要があります。

王国の福音は、祈りをしてイエスを心に招くなら天国に行くことではありません。イエスをあなたの心の中に招く祈りが、必ずしもあなたを救いません。あなたが本当に、本当に主を受け入れているなら、そうかもしれません。目標は天国だけではありません。もっともつとあるのです。

王国の福音は、正当な王が到着し、至る所にいるすべての人が、正当な王としての主権に命を捧げるように召されているということです。主権への服従を拒否する人々は、正当な王への反抗です。あなたが正当な王に服従するとき、神は、あなたの人生すべてのを正しい秩序に置かれます。それは、あなたが神の王国の領域に正当な従順で来るからです。

**🔑 キー：王国の福音には、しるしと不思議が都市や町々、村々に設立された力強い王国の地域社会に表されます。**

王国の福音には、しるしと不思議が伴います。それは弱い福音ではありません。それは力のデモンストレーションを伴う福音です。私たちは今、王国の福音が一世紀からしるしと不思議が期待されるべき種類のものとして説教されている時代にいます。

さらに、王国の福音は人々を共同体に入れます。なぜなら、イエスは王国の福音を宣べ伝えることの結果は何だと言ったからですか？「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。（マタイ 16:18） 教会は、世界中のコミュニティ、都市や地域に顕在化しています。

### 契約を守ることは王国を拡大する (Covenant Commitment Expands the Kingdom)

80 年代前半に主が私たちに契約の約束を誓うように召されたのをご存じでしょう。アッシャー、アトン、私とポール・ウィルバーと他の人々は、40 年間一緒に過ごしてきました。それはいつも簡単ではありませんでした。時には、想像できうる究極の鉄を研ぐ鉄の類の域に達しました。しかし、私たちは耐え抜きました。それは王国だからです。

王国(御国)の福音にはしるしと不思議があり、人々にイエシュアに人生を捧げるよう呼びかけます。罪は赦されます。キリストの主権に服従する人々は、福音を宣べ伝えることによって拡大しようとする共同体に入ります。さらに多くの人々が救われ、イエシュアの主権に服従するにつれて、さらに多くのコミュニティ/会衆/教会/グループが植えられます。すべての国で王国の福音が十分に証しされるまで、新しい指導力が育ち、より多くのグループが植えられます。それが起ると、主は戻られます。

**🔑 キー：アグローは、王国を前進させ、世界中のすべてのコミュニティに届けるよう召されています。**

ヘルンフォートの 24 時間年中無休の祈り会は、世界宣教の一部を担うためのものでした。リバイバル、一致、そして世界宣教は、常に彼らの祈りの集会の一部でした。友人マイク・ビックル師が導かれるアメリカ、カンザスシティにある IHOP(インターナショナル・ハウス・オブ・プレーヤー)に隣接する住宅ユニットの名称がヘルンフォートなのをご理解いただけるでしょう。彼らはそれを理解しています。私が彼らに会う前に、すでに彼らはその柱の同じ神学を与えられていました。それが 1990 年に私たちを結びつけたのです。

今、福音はイスラエルの救いともつながっています。ローマ 11 章を開いてください。

**ローマ 11:11** 「では、尋ねましょう。彼らがつまずいたのは倒れるためなのでしょうか。絶対にそんなことはありません。かえって、彼らの違反によって、救いが異邦人に及んだのです。それは、イスラエルにねたみを起こさせるためです。」

ギリシャ人(異邦人)は、世界宣教は本質的にイスラエルに妬みを起こさせ、ユダヤ人を連れ戻すことに関係していると暗示しています。それを見るのは驚くべきことです。

ローマ 11:12 「もし彼らの違反が世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らの完成は、それ以上の、どんなにかすばらしいものを、もたらすことでしょうか。」

## 第四の柱

パウロが地中海の世界に出かけたとき、彼はいつも最初にシナゴグに行きました。パウロは彼らに最初の拒否権を与えました。福音を受け入れるか拒否するかです。ところで、私はそれが継続的に主要だと思います。「ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、、、。」（口語訳ローマ 1:16）それが、私が数年前にギリシヤに行った理由です。はじめギリシヤ人にも、そして、そして他の人々にもです。ギリシヤ語を話す世界ですが、最初の拒否は全世代のユダヤ人に属します。パウロの旅行でその拒否が行われたとき、彼は、シナゴグを経由せずに、異邦人に直接行くことが自由に感じました。その異邦人は、改宗者であり、シナゴグに身を固めていたのです。それにより、ユダヤ人の拒否は異邦人の和解をもたらしました。

🔑 キー：第四の柱は、福音が再びユダヤ人に来ます。メシアとしてイエスを認識することが主の帰還を先導するでしょう。

パウロは、歴史的に起こったことを語っています。それについては使徒 13 章で読むことができます。これは一時的な状況だと言います。パウロは言います。「私は異邦人や国々への使者であるように、私は国々と異邦人から来るあなたがたに話しています。私は自分の肉と血にねたみを起こさせ、彼らのいくらかを救うかよう、私のミニストリーを拡大します。彼らの拒絶が世界の和解につながるならば、彼らの受け入れは死からの命以上のものになるでしょう。（英文からの直訳）」（使徒 13:46）

「神のことは、まずあなたがたに語られなければならなかったのです。しかし、あなたがたはそれを拒んで、自分自身を永遠のいのちにふさわしくない者と決めたのです。見なさい。私たちは、これからは異邦人のほうへ向かいます。（新改訳使徒 13:46）」

何人かの教父に遡る解釈の長い歴史があり、イエスが戻る前に、イスラエルは悔い改め、何らかの方法で主を呼び求め、彼らの受け入れが再臨につながると言います。ここで死からの命について話すとき、私たちは世界のリバイバルについてだけのことでなく、そのように解釈する人もいますが、イエスの実際の帰還と死からの復活について話しているのです。これはルター派のピエティス(敬虔主義)で信じられていたものです。それはツインツェンドルフ(ジンゼンドルフ)が信じていたものであり、私たちも信じています。

## 死からの復活

多くの人々がこれを見ており、ローマ 11 章の解説の大半はこのように解釈しています。

これは、ローマカトリックのカテキズム(教理問答)、段落 674(パラグラフ 674)でどのように解釈されているかです。

674--- 栄光のメシアの到来がいつ実現するかは、イエスへの「不信仰」（ローマ 11・20）のために、一部の者がかたくなになった、「全イスラエル」がいつイエスをメシアだと認めるかにかかっています。これについて、聖ペトロは聖霊降臨の後ユダヤ人に語っています。「だから、自分の罪が消し去られるように、悔い改めて立ち返りなさい。こうして、主のもとから慰めの時が訪れ、主はあなたがたのために前もって決めておられた、メシアであるイエスを遣わしてくださるのです。このイエスは、神が聖なる預言者たちの口を通して昔から語られた、万物が新しくなるそのときまで、必ず天にとどまることになっています。（使徒言行録 3・19-21）聖パウロがこれに呼応しています。「もし彼らの捨てられることが、世界の和解となるならば、彼らが受け入れられることは、死者の



中からいのうちでなくて何でしょう。(ローマ 11・15) 異邦人の全体に続いてユダヤ人の全体がメシアの救いにあずかるようになるにはじめて、神の民は「キリストの満ちあふれる豊かさ」(エフェソ 4・13) になるまで成長するでしょう。そのとき、「神がすべてにおいてすべてとなられる」(一コリント 15・28) のです。

(ここは翻訳ではなく、カトリック中央協議会出版「カトリック教会のカテキズム」203 頁 674 からの引用)

🔑 キー：ユダヤ人は、イエスが戻ってくる前に、イエスをメシアとして認識し、受け入れなければなりません。

信じられませんでした。「ジェーン。カトリックのカリスマが 1 億人いることをご存知ですか？」私たちの対話のほとんどは彼らとのものです。私は誰が先ほどの段落 674 を書いたか知っています。カテキズムのこの部分を書いたのはカトリックのカリスマの修道士です。私はそれが誰であるかを言うことはできませんが、それはすべてそこにあり、主の帰還がこれにかかっていると言います。それはいつでも起こり得ますが、実際には、主の古代の人々が彼を認識する瞬間を待っています。それは、すべてのものの回復の時まで天国にとどまらなければならないと言っています。置換神学を否定し、そして、主の帰還がユダヤ人に起こることを条件としていることを確かめてください。

「彼らの捨てられることが、世界の和解となるならば、彼らが受け入れられることは、死者の中からいのうちでなくて何でしょう」

ある人は、イエスが戻られる時が来ると、イスラエルは彼を認識するので、それまで私たちはイスラエルを支持すると言います。彼らはユダヤ人の福音宣教に関与せずユダヤの人々を怒らせ、イスラエル政府から私たちを遠ざけます。あなたがユダヤ人伝道に関与しているなら、ネタニヤフ首相と予約をとる予定はないでしょう。

今日、キリスト教シオニスト(ユダヤ主義者)の指導者の一人にユダヤ人神父がおり、彼はメシアニックジューであると言っていました。彼はそのアイデンティティをあきらめ、今ではキリスト教シオニスト運動とイスラエル政府との働きに非常に有名です。しかし、伝道するメシアニック・ユダヤ人であると言い続けたなら、彼はそれをする事ができなかったでしょう。

🔑 キー：私たち異邦人の信者として、またメシアの信者として、私たちのキリストとの関係が未信者のユダヤ人たちが主を知りたいと願うように起させるように召されています。

パウロは次のように述べています。「そこで、異邦人の方々に言いますが、私は異邦人の使徒ですから、自分の務めを重んじています。そして、それによって何とか私の同国人にねたみを引き起こさせて、その中の幾人でも救おうと願っているのです。」(ローマ 11:13-14) パウロがあなたに言っているのは、あなたがたがこれをするように召されているということです。最終的にイスラエルが救われると信じるように召されているだけではありません。イスラエルの救いは、イスラエルの救われたレムナント(残された人々)であるユダヤ人信者の増加につながっています。

パウロは、できるだけ多くの人を救うことをとも考慮していました。彼らを救うことは、すべてのイスラエルが救われることにつながるものの一部です。イエシュアムーブメント(運動)のために成長するユダヤ人とつながる必要があります。あなたがたなしではできません。パウロは、ユダヤ人の救いはユダヤ人と異邦人のパートナーシップであり、私たち両方が信仰を共有していることを示しています。私たちは両方ともユダヤ人を愛しています。私たちは両方とも彼らに投資しています。私たちは共に、祈りとお金をユダヤ人宣教と世界宣教に捧げています。ユダヤ人を救うために一緒にいます。

🔑 キー：ユダヤ人と異邦人は、ユダヤ人が救われるのを見るためにパートナーシップを結んでいます。そうすれば、すべてのイスラエルが救われ、キリストの帰還につながります。

私は年配のオランダ改革派神学者と話しました。話している時に、彼は次のように言いました。「パウロが言っていることは、世界宣教とユダヤ人への宣教が共に渦巻いて、ますます大きくなるということです。それで、より多くのユダヤ人が救

われるのを見るでしょう。そして、これはより多くの国々の人々が救われることにつながります。より多くの国々の人々が救われると、より多くのユダヤ人が救われることとなります。それから、もっと多くの国民が救われ、救われたユダヤ人が増え、イスラエルは救われ、主の帰還に至るまで、これは一緒に渦巻いてますます大きくなります。」ワオ！オランダの改革神学です！

ローマ 11:16 初物が聖ければ、粉の全部が聖いのです。根が聖ければ、枝も聖いのです。

ユダヤ人信者は、全体を聖めることを意味する初物の実です。私たちはイスラエルのユダヤ人コミュニティ、特に宗教者たちに大いに拒絶されるかもしれませんが、パウロは私たち(ユダヤ)が国を聖めるものだと言います。私たちの存在によって、信じない配偶者が信じる配偶者によって聖化されるように、国民の残りが守られ、聖化されます。彼は、不信仰であっても、それでもユダヤ人が神の選びであることを明確にしています。

ローマ 11 : 28-29 彼らは、福音によれば、あなたがたのゆえに、神に敵対している者ですが、選びによれば、先祖たちのゆえに、愛されている者なのです。神の賜物と召命とは変わることがありません。

ユダヤ人には取り消し不可能な召しがあります。ユダヤ人は、神の存在を証明する証拠です。ユダヤ人の無神論者が「私はユダヤ人です」と言うとき、あなたがたは彼の無神論については考えず、モーセとシナイ山について考えます。「私はユダヤ人です」と言うときに、彼は神の言葉の真実を証言したこととなります。どうしようもないのです。これは、取り消せない召しの一部ですから。土地に帰還する-それは取消不能の召しの一部です。取り消し不能の召しに含まれるものについて詳しく説明します。ユダヤ人だけができること。

ユダヤ人ができることの一つは、主の帰還を望むことです。素晴らしいシンフォニーがあるとき、ケトルドラム(多分ティンパニーのこと?)を持つ人がドラムハンマー(マレット)を取り、ブーン!(BOOM)と最大音量になるまで、シンフォニーは終了せず、人々は拍手しません。同様に、この時代の交響曲は、ユダヤ人がそのハンマーを取り、イエシュアに戻るよう呼びかけるケトルドラムでブーン!(BOOM)となるまで終了しません。

マタイ 23:39 あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に。』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。」

ツィンツェンドルフは、大きな絵を見ていた。

これがツィンツェンドルフにとって意味することは非常に实际的でした。彼ははるかに先の時代に進んでいました。悲しいことに彼は最後に反ユダヤになりました。教会史には大人物たちがいましたが、私のお気に入りにはツィンツェンドルフです。なぜなら彼は他の誰も見ていない方法で全体像を見ていたからです。彼は、ユダヤ人に対する使命を持たなければならないレベルで、ユダヤ人のことを見ていました。ユダヤ人たちは最後に起こるまで待つつもりがなく、彼らはユダヤ人に妬みを起こすことを求め、人々を送り出すつもりでした。

私はショックを受けました。私はオーストリアのウィーンに居て、そこには教授であり牧師であるエルベルト・バインダー(Erbert Binder)というヘルンフォートに滞在したことのある方がいました。私がヘルンフォートに行く前でした。彼はいくつかの保存記録から発見したことを発表していました。

モラヴィア人は、1730年代、40年代にメシアのユダヤ人のコングレゲーション(会衆:教会の別名)を開拓したことがわかりました。その1つはアムステルダムにありました。宗教裁判と迫害のために地下になければなりません。ユダヤ人は拒絶されたため、地下のシナゴークがありました。ユダヤ人の結婚式の銅版画(彫り物)がありました。ユダヤ人会員とラビの会員リストがありました。彼らは実際にメシアのユダヤ人のミニストリーに参加していました。来ていたユダヤ人が、まだユダヤ人の生活を続けていたことを言わざるを得ません。18世紀初頭、ツィンツェンドルフはリバイバル、一致、世界宣教、ユダヤ教の伝道というビジョンを持っていました。私が彼をプロテスタント教会史の中で最も偉大な人物だと思う理由がわかるでしょう。

妻のパーティは、私よりも霊的に敏感です。彼女は人の経歴から読みとることはできませんでした。ヘルンフォートで見たものの真実が提示されるところまで読んで、彼女は本を横に置かざるをえませんでした。それは書き留めなければなりません。それは多すぎました。-彼らが持っていたビジョンの栄光は、私たちの時代にまで、それが満たされるのを待っていたのです。

## 第五の柱

最後の柱は、実は最初のことであると神が言われたことについて話します。神は、残り四つの柱の成就へと教会を導くリーダーシップを最後の日に育てようとしています。それらはどういったものでしょうか？

## 五本の柱

1. リバイバルの霊とイエシュアへの情熱
2. 聖霊を解放する教会の一致
3. 世界宣教、会衆/コミュニティを設立する王国の福音、王国に繋がる全体
4. ユダヤ人とその救いに心と情熱を持っている
5. 最初の4つの柱に情熱を燃やすリーダーを育てる

**エペソ 4 : 11-13** こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。

**エペソ 4 : 15-16** むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において成長し、かしらなるキリストに達することができるためなのです。キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分はその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。

この箇所の理解を受け止めとき、「エペソ 4 章を信じる人々を見つけなければならない。」と私は言いました。80 年代初期に行われていた使徒運動と呼ばれるものを見て、がっかりしました。強力な教会とネットワークを建て上げる強力な指導者がいなかったわけではありません。

ピーターワーグナー師は世界を旅し、キリストのからだで何が起きているかを調べました。教会が成長している場所では、何百、何千人もの人々が古い教派構造とは異なる構造で建てられていることを発見しました。それらは使徒的預言的リーダーシップとチームに基づいて構築されていましたが、そのような用語を使用していませんでした。

使徒と預言者という言葉を用いず、5 役者のミニストリーのやり方で建てあげている多くの人々がいます。分類やラベルを使用するよりもむしろ、行われている働きです。ピーターは、世界中を旅して見たものに名前を付け、彼が見たものを新しい使徒改革(New Apostolic Reformation)と呼びました。人々は彼が NAR を始めたと考えましたが、彼は見たものに名前をつけただけでした。

当時、人々は一致するのではなく、独自の王国を築いていました。ある指導者は、「一致運動に身をゆだねるなら、自分の教会を建てる時間もエネルギーもない」と言いました。エペソ 4 章のこの啓示を見るなら、そんなことは決してありません。私たちはいつもみからだの一致を求めました。

私は教会と5役者のミニストリーの一致に熱心な使徒的リーダーシップを探していました。そして、何人かを見つけました。

私が見つけた一人は、デビッド・デュ・プレシスという名前の偉大な人でした。彼は「ヨハネ 17:21 委員会」と呼ばれるグループを結成しました。私は彼の晩年、彼と一緒に委員会の席に座ることができました。彼は、コミュニティにおけるみからだの一致の重要性を理解していました。彼は4本の柱の成就を求めていた使徒的人物像の一人でした。

ここ数年一緒に歩むことのできたもう一人の方は、このことをはっきりと理解しているジャック・ハイフォード師です。今日、使徒レベルのリーダーは、そのような種類に分類するかどうかにかかわらず、世界のリバイバルの完全な達成、教会の一致、世界宣教の達成を見ることに情熱を傾け、イスラエルに妬みを起こさせ、教会にリーダーシップが生じることに情熱を持つこと、そして、競争心を脇に置き、強い会衆を築き、強いネットワークを築こうとする人々です。

それはずさんなアガペームーブメントにはなりません。それは、聖さ、基本的な教義の基準を必要とするムーブメントであり、基本的な道徳的基準も必要とするでしょう。神のリバイバルは常に聖霊のリバイバルです。

**エペソ人への手紙 4:14** それは、私たちがもはや、子どもではなくて、人の悪巧みや、人を欺く悪賢い策略により、教えの風に吹き回されたり、波にもてあそばれたりすることがなく、

メシヤの満ちた様とは、成熟した成人です。それがイエスがヨハネ 17章で祈ったことだと思います。私たちが求めているのは、そのメシヤの身丈にまで満ちた様にまで成長することです。

聖書の証拠は、メシヤが来る前に、私たちは教会が満ち満ちた様になるのを見ることだと信じています。ローマ人への手紙 8章は、神の子たちの現れについて語っています。私たちが求めるイエシュアの再臨のこちら側には、神の民の現れがあります。栄光、力、一致の現れがあります。それは驚くべきことになるでしょう。私たちは大変な日々を迎えようとしています、最も素晴らしい日々を迎えようとしています。

何を言いたいのでしょうか？あなたは五本柱の人ですか？あなたは私たちと一緒に五本柱運動に参加しますか？

- » あなたはリバイバルにコミット(専念)するつもりですか？あなたはリバイバルのために祈り、それを求め、それを経験することに専念するつもりですか？
- » 教会の一致に専念するつもりですか？一致のために祈り、それを求め、できるところどこでも、そのように生きますか？

**🔑 キー：**アグローは、何年間もずっと教会運動の一致でした。神は、これらの柱の重要性についての男性の頑固さを乗り越えるために、最初に女性を通して働きかけなければならなかったと思います。

あなたは世界宣教に専念するつもりですか？証人として全世界で語られている王国(御国)の福音に基づく世界伝道です。

- » イスラエル人全員が救われるのを見るために、ユダヤ人とユダヤ人ミニストリーに関わり、参加するつもりですか？ですから、私たちが言う、ニュースレターを見て、サインアップし、何かを捧げ、つながり、私たちがしていることを知り、私たちを知り、具体的なことをするのです。
- » あなたは、世界中とイスラエルで、神が終末の時代のために建てあげてくださるリーダーシップのために祈るつもりですか？

ここには、これらのことを信じるリーダーシップがなければなりません。それはパートナーシップになるでしょう。私たちはそのリーダーシップの先駆けとなることを目指しています。イスラエルにいる信者たちのからだ(共同体)がこの5本の柱を信じ



るようになると信じているので、私たちは今これを預言的に生きたいと思っています。現在、私たちは少数派ですが、これに関して私たちと一緒にいる他の流れもあります。

私は、5本の柱の信者である他の人々とつながるようにあなたに勧めたいです。これのために祈ってください。それを求めてください。それを奨励します。牧師先生に分かち合ってください。教派のリーダーたちと分かち合ってください。リーダーの流れと分かち合ってください。どこにいても、この5つの柱の推進者になり始めてください。5つの柱の運動に参加してください。

🔑 キー：アグローは、5つの柱ムーブメントになるという点で最先端です。

アグローに関しては、これで最先端に行くことができます。何年もこのことに関して大抵のことを運んでいました。これで、これまでよりもさらに他の人に影響を与えることができます。ジェーンがあなたを導いたように強くあなたがユダヤのミニストリーにつながることは、アグロームーブメントの上に、これまで以上に好意と祝福を注ぎ出すことを可能にする大きな影響とより大きな実りを引き起こすでしょう。アーメン

あなたがたがユダヤ人とアラブ人を祝福しているので、アブラハムの種を祝福することであなたは祝福されるでしょう。

祈りましょう。

父よ、私たちはこの理解についてあなたにあなたに感謝し、賛美します。皆さん、楽観的な理解です！私たちは勝利に向かっています！下りません！私たちは上がっています！私たちは衰退していません。私たちは上昇しています！主よ、私たちはあなたが私たちを通して力強いことをされることを楽しみにしています。

そして今、少し時間をかけて、あなたがこのメッセージへの応答として何をしようとしているのかについて神と契約を結んでください。

主よ、あなたは私に、つながり、これに加わり、あなたの主権から何も遠ざけ、力と栄光で前進するためにあなたを100%信頼するために、私に具体的に明確に何をさせようとしておられますか？

神はあなたに何を話していますか？それは、このようなメッセージに重要なことです-あなたがやろうとしていることがあります-それを実行し、それにつながり、それに関与することです。

ジェーン：

聖霊があなたに五本の柱になる方法について話しておられると確信しています。主よ、あなたはこの時のために私たちを召してくださいました。私たちは召され、準備が整いました。これはデプロイメント(任地への派遣配置)(軍隊では戦地や危険地帯への派遣の時に用いられる用語)の時です。送り出され、まだ手にしていないより偉大な方法で、偉大な王国の偉大な福音を分かち合うのです。(主よ)私たちの人生においてのあなたの召しをありがとうございます。あなたの聖霊に感謝します。私たちの内に宿られるあなたの聖霊にとっても感謝しています。私たちは神の家族と一致することができてとても感謝しています。主よ、あなたの究極の意図、はじめから罪が入る前にすでにあなたの心にあったことが実現することを祈ります。私たちはそれが実現することを知っています。それはあなたのものだからです。あなたには大きな栄光と名誉をイエスにもたらす方法で人々を通して動かす力があるからです。